

医学研究実施について

当院では下記の研究を実施しております。この研究は水戸協同病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試料や情報を利用することをご理解できない場合は、お手数ですが下記の連絡先までお申し出下さい。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が、研究期間以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承下さい。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【研究課題】

インスリンイコデクを導入した症例の後ろ向き観察研究～適切な患者像の探索～

【研究計画の概要】

○目的

これまで持効型インスリンは1日1回の投与を要する治療であり、本人・家族にとって注射回数の負担や、打ち忘れによる血糖の悪化などが問題となる場合があった。2025年1月に週1回の注射で済む基礎インスリン製剤であるインスリンイコデクが発売され、本研究者の勤務する大場内科クリニックでも3月から導入を開始した。インスリンイコデクを導入した患者に対し、糖尿病の管理状況の変化や、毎日注射していた基礎インスリンが週に1回になったことによる患者さんの負担軽減、治療に対する受け入れ方の変化について後ろ向きに検討・考察し、導入が適切な患者像を分析し、より多くの患者さんにインスリンイコデクを普及することを目的とする。

○研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

○対象となる方

2025年3月から2025年10月までに水戸協同病院を受診し、インスリンイコデクを導入された患者

○研究に利用する試料、情報

診療録(カルテ):研究対象患者情報(匿名化したID、年齢、性別、身長、体重、BMI、食事内容、等)。

血液・尿検査所見:血糖、HbA1c、腎機能、肝機能

持続血糖測定モニタリングのデータ

○倫理的事項

本研究の実施にあたり、患者様(被験者)への新たな負担はありません。

診療情報は連結可能な状態で個人が特定できない形に加工し、加工した対応表、診療情報はUSB等に保存し、施錠のあるキャビネット内に保管します。研究結果は国内、国外の学会、論文で発表します。公表する結果は個人を特定できない形に加工し、被験者の個人情報は一切公表しません。研究発表以降は、上記の対応表を破棄し、加工したデータは連結不可能な形で研究責任者が保存します。

○その他

被験者が研究に参加することによる新たな費用は発生せず、また謝金なども発生しません。

【問い合わせ先】

水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 内分泌代謝・糖尿病内科

研究責任者: 伊藤 惇

電話:029-231-2371(代)